

平成 30 年 6 月 19 日

各報道機関 御中

宮崎大学企画総務部広報・渉外課

高校生のための「教師みらいセミナー」の開催について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より本学の教育・研究についてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本学では、教師を目指す県内の高校生たちを対象に、宮大教員・学生、学校現場の教員、県教委、地域の方々等の講義や講話を提供することを通して、教師への道を考えてもらう機会として「教師みらいセミナー」を開催しており、今年度で 3 回目を迎えます。

昨年度から宮崎県商工会議所連合会共催のもと、「ふるさと宮崎の担い手」に焦点を当て、「宮崎で教師になる宮崎大学・地域等の官民協働による人財育成」をキャッチフレーズにしています。

つきましては、開講式当日に取材していただき「ふるさと宮崎の担い手」として意欲を燃やす高校生の姿を報道して頂ければ幸いに存じます。

何かとご多忙中とは存じますが、何卒よろしくお願いいたします。

記

開講式日時：平成 30 年 6 月 23 日（土）9：00 から 12：00

（セミナーは 12 月までの毎月 1 回）

対 象：教師を目指す県内の高校 3 年生で「教師みらいセミナー」に参加登録をした
県内県立・私立 20 校の高校生 188 名（1, 2 年目より約 60 名増加）
宮崎大学志望者以外も対象にしています。

会 場：宮崎県立宮崎南高校 志鵬室

参 加 費：無料

主 催 者：宮崎大学教育学部

共 催：宮崎県商工会議所連合会

後 援：宮崎県教育委員会

※詳細は、別紙リーフレットをご覧ください。

宮崎大学・地域等の官民協働による 人財育成

宮崎の先生っていいな。そんな「あなた」を応援する 教師みらいセミナー

教師を目指す県内の**高校生仲間**と考える**教師への道**

宮大教員・学生、学校現場の教員、県教委・保護者・地域の方々等
と考える**教師への道**

教師になるだけでなく、**教師として生きるための**
求められる教師像を**同じ志を持つ高校3年生同志で**
考える時間を高校時代にもつ

- 1 日時 平成30年6月23日から月1回(土曜日) 9時から12時まで
- 2 対象 教師を目指す県内の県立・私立高校20校の3年生188名
- 3 会場 宮崎南高校 志鵬室 参加費 無料
- 4 主催 宮崎大学教育学部
- 5 共催 宮崎県商工会議所連合会
- 6 後援 宮崎県教育委員会



教師みらいセミナー(2018)各セミナーの概要

月日	時間	テーマと講師	概要
6/23	9:00-	開講式<学部長, 担当教員他> 体験談<昨年度までの参加者で 現在宮大教育学部生2名> 「教師みらいセミナーから学んだこと」	開講式を行い、セミナーの目的やプログラムの概要を確認し本セミナーへの見通しを持ちます。 教師みらいセミナーに昨年度まで参加し、宮崎大学教育学部に入学した学生に自身の体験を踏まえながら、教師みらいセミナーでの学びや教育学部での学生生活等について話をしてもらいます。
	11:00-	教師の魅力 <現職の先生>	教育現場で働いている先生方に、自分自身の体験を踏まえながら、教師という職業のやりがいや素晴らしさ等について話をさせていただきます。
7/21	9:00-	学校と地域における教員の役割 <宮崎大学 湯田先生>	現在、学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の設置など、学校と地域との関係が大きく変わろうとしています。しかし、歴史的に見ると、現在よりも学校と地域とが密接な関係であった時期もありました。学校と地域との関係がかわると先生に求められる役割が変わります。最新動向から、今後教員に求められる役割を説明します。
	10:30-	県立美術館長 前宮崎県教育長 <飛田洋先生> 教師を目指す皆さんと考えてみたい 「なぜ人は学ぶのか？」	日本や宮崎の若者をめぐるこれまでそして今の状況の把握、さらには、現在高校生や中学生である若者が生きていこうとする時代背景の予測をしながら、若者にとって「なぜ人は学ぶのか(学ぶ意味)」「どう学ぶのか(学び方)」「学んだことをどう生かすのか(生きがい)」等を教師を目指す皆さんと一緒に考えてみましょう。
9/29	9:00-	商工会議所関係者の方	宮崎の企業等で働いておられる方から宮崎県で働くことの楽しさや素晴らしさを具体例を挙げながらわかりやすく話をさせていただきます。
	10:30-	宮崎県が求める教師像 <県教育委員会教職員課>	「宮崎県の教職員の資質向上」に日々取り組んでいる担当者が、宮崎県が求める教師像について、わかりやすく高校生の皆さんに説明します。
10/20	9:00-	「学校における子ども虐待の発見— 生活指導とは何か」 <宮崎大学 竹内 元先生>	現代的な課題の一つである子ども虐待や子どもの貧困にどう向き合うのか。学校には何が求められ、どのように対応するのか。具体的な実践事例を通して、教育方法とは何かを考えます。「生活が陶冶する」という教育方法学の基本概念を理解しながら、教師としてどのように学んでいくのかをともに深めたいと思います。
	10:30-	教育学部でイルカの研究?~卒業 研究で「理学的」研究をする意味~ <宮崎大学 西田先生>	教育学部で「教育学」以外の研究をしていると聞くと、不思議に思う人も多いのではと思います。実は教育学部で教えている先生の半分以上は、教科内容の専門家です。例えば、私の専門は分子系統・分子生態学。野生生物のDNAを解析して、種や集団の進化について調べています。教員を目指す学生さんが、「リアル」な理学の世界や、方法、考えた方に触れる意義!について、私の研究内容とともに紹介していきます。
11/10	9:00-	「特別支援教育を考える!」 <宮崎大学 権 借珍先生>	特別支援教育は、障害や重い病気のある子どもたちの一人ひとりのニーズに合った指導・支援をするものです。本授業を通して、特別支援教育について学び、障害や重い病気のある子どもたちが障害のない子どもたちと共に学ぶために必要な環境や配慮とはなにかについて一緒に考えてみましょう!
	10:30-	「『算数・数学を教える』って、どういう こと?」 <宮崎大学 木根先生>	皆さんは、算数・数学は好きですか。これまでどのように学習してきましたか。算数・数学の勉強は、「公式を覚えて、速く、正確に答えを求める」ためだけにするのでしょうか。皆さんのこれまでの経験を振り返りながら、子どもたちに「算数・数学を教える」とはどういうことなのか、一緒に考えてみましょう。
12/8	9:00-	求められる教師像 <旭化成本社 元人事担当役員>	学校の先生方は社会のことをあまり見ようとせず、関心をあまり持ってこなかったのではないだろうか。何のために学び、働くのかを問いつけるキャリア教育の専門家が、高校生に事例を取り上げながら語ります。
	10:30-	修了式<学部長, 担当教員他>	修了式を行い、セミナーのまとめを行います。